

コミュニケーションを活発にする二つのCMS

伊津信之介 (東海大学福岡短期大学)

solo@ftokai-u.ac.jp

J. D. M. Cruz (九州女子大学)

jose@slipstreamharbour.com

かつて Ivan Illich が、すぐれた教育制度の下では、本当に誰もが自由に論じることができ、それらのすべてが十分に役立つものとなるように近代的科学技術が用いられるべきである、と訴えてヴァナキュラーな WEBS の概念を示した。演者らは教育現場で WEB を有効に用いるために、ContentsM. S. として XOOPS を使い、CourseM. S. として moodle を用いてきた。その特徴を分析し、二つの CMS を発展させた LearningM. S. として HATA (機) を提唱する。

Activating Communication via two CMSs

Shinnosuke Izu

Tokai University Fukuoka Junior College

J.D.M.Cruz

Kyusyu Wemans College

Ivan Illich insisted that in order to overcome a society where true freedom of discussion is still rare, school systems must employ technology in learning to its fullest to overcome the situation. 20 years after Illich's fateful plea, the appearance of the World Wide Web has made it possible for the presenters to use two Web applications, "XOOPS", the CONTENT Management System, and "Moodle", the COURSE Management System, to help make their work more effective. We will present an analysis of their specific features, and present a plan for the development of a new LEARNING Management System we call "HATA".

1. はじめに

かねてから高等教育が知識伝達教育から思考訓練教育に代わらなければならぬことを演者の一人伊津は主張してきた。この思考訓練型の教育を行うためには多人数より少人数が望ましく、これを補足するためにコンピュータを使った CAI や E ラーニング授業の導入を志向してきた。

現存する高等教育の集団学習の場は、教壇に立つ教師・座席に座る学生・情報提示の黒板 (OHP) によって成り立ち、教員中心の教育体系が形成されてきた。その後 CAI や E ラーニング化の中で教室メ

タファーに、電子掲示板・チャット・書類保管所・教材データベース・学習診断ツールなどが加わり学校のデジタル化が進行している。ただこれも教員中心の中央集権的な体系である。従来からの教室における集団知識教育のメタファーを投げ捨て、教育のパラダイムシフトを実現させることが大切である。教師中心の教育から学生中心の学習へパラダイムジャンプが求められ、成熟した ICT がそれを可能にした。

2. XOOPS の教育への適用

演者らは、ContentsM. S. の XOOPS を教

育用ダイナミックなポータルサイト構築に2003年から使用した。ユーザ管理機能、サイト内コンテンツの検索機能、掲示板機能、投票機能、サイトリンク集構築システム、ニュース投稿システムなどである。これらの基本機能プログラムはモジュール管理システムによってコントロールされ、新たなプログラムの追加をモジュールの作成という定式化した方法で行うことができる。また教材提示モジュールには第三者が開発したWF-Sectionwo用いた。このモジュール開発は、全てのXOOPS利用者が行うことができる。公式サイトユーザーは2005年8月に15000人に達した。

3. MoodleによるEラーニング

演者の一人伊津は、2006年春学期担当の授業の内5教科でContentsM.S.のXOOPSからCourseM.S.のMoodleに切り替えた。これは学生が受講する教科だけのコースに集中することを重視したためである。Moodleはコンピュータを使った授業支援やEラーニングとして自主的に学習する環境を提供する教師に大変便利なツールである。

4. パラダイムジャンプ

演者らが認識しているEラーニングに使われるCMSは、Moodle、XOOPS、CEAS、Sakai、exCampus、CFIVE、Blackboard、WebCT、NetCommonsなどである。これらの中でソースコードが公開されたオープンソースのソフトウェアを教育機関の環境に適用することは、開かれた教育にとって不可欠な要素である。すなわち、使っている道具を分解し、その仕組みを解明し、再び組み立て、あるいは別種の道具に発展させることが出来るからである。

XOOPSのような一般社会で普及する多目的用途のソフトウェアを教育目的に改変する際には一層この要素が重要になる。オープンソースの中でもGPLは使用者にとっての自由度が最も高いライセンスである。この下に公開されるCMSであるXOOPSやMoodleを導入し、Eラーニングサイトを作る時、ある教科の学習者が、自らの学習環境を改善することが可能になるのである。

この過程を通して、従来の教育と学習の場においてステレオタイプ的に扱われてきた、教え、教えられる関係の見直しと21世紀型の教育学習の場としてのモデルを提示する。

5. L.M.S『HATA』（機）

1970年にIvan Illichが「脱学校の社会」の原著で、『すぐれた教育制度の下では、本当に誰もが自由に論じ、自由に集会を持ち、自由に報道ができるようにし、またそれゆえにそれらのすべてが十分に役立つものとなるように近代的科学技術が用いられるべきである。』と訴え、ヴァナキュラーな”WEBS”の概念を示した。演者らはIllichが主張した『教え教えられる関係』を生み出すCourseM.S.をXOOPSとMoodleに求めてきたが、それぞれの個性を生かしたLearningM.S.の必要性を痛感した。

『教え教えられる関係』は利用者が容易に運用者や開発者に移り変わる簡便な管理運用だけでなく、たやすいシステムの改変やモジュールの開発が可能な仕組みが求められている。これを実現するために、ContentsM.S.のCode-Plusを開発し、ここにCourseM.S.のHATAを組み込むプロジェクトを進めている。